

世界遺産登録
3周年記念

湯浅でセミナー



「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録3周年を記念したセミナーが4日、湯浅町の県有田振興局で開かれ、町民ら約50人が参加、講師の話に熱心に耳を傾けた。写真。

「紀伊山地の霊場と参詣道」は平成16年7月、世界遺産に登録された。県は3周年を記念して7月1日から7日までを「世界遺産週間」と位置

づけ、世界遺産の良さを見直そうと、県内で記念イベントを開催しており、セミナーもその一環。セミナーは「世界遺産の魅力」祈りの道と文化的景観」の演題で1部から3部で構成。1部では県世界遺産センター長の辻林浩さんが「祈りの道と文化的景観」のテーマで講演。辻林さんが「霊場と道だけを守るのではなく、周辺の景観も

保存していくことが大事」などと語り、参加者らは熱心にメモをとるなどしていた。

平成19年7月5日付 産経新聞